

## 小6国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 91.3%

**ねらい**：漢字の読みと書きを正しく答えることができるか確認する。

**分析と対策**：漢字の形は正確に覚えることが大切です。また、形が似た漢字に注意しましょう。例えば「複」と「復」のような似た漢字は、どこがちがうのか意識して練習しましょう。

### 2 漢字・語句の知識 53.8%

**ねらい**：和語・漢語・外来語、漢字の成り立ち、敬語についてそれぞれ理解を問う。

**分析と対策**：(1)の和語・漢語・外来語では、漢字が正しく読めて、それが音読みか訓読みかがわかることが必要です。(2)は象形文字・指事文字・会意文字・形声文字のそれぞれの意味を把握し、どの漢字が何にあてはまるのかを答えます。(3)は行動の主体が身内側なのか相手側なのかを読み取り、適切な尊敬語・謙譲語に直せるよう練習しましょう。

### 3 詩と鑑賞文の読み取り 68.9%

**ねらい**：詩が表現していること、伝えたいことを読み取り、鑑賞文の内容も理解しているかを問う。

**分析と対策**：(1)は詩に対応する部分を鑑賞文から探す問題です。(2)は該当の部分に用いられている表現技法を答える問題です。主要な表現技法の名前とはたらきをおさえておくことが重要です。(4)は詩の中の指示語が指す内容をつかんでいるかが問われます。(5)は鑑賞文の筆者の意見を、文章全体から読み取

る問題です。(6)は空らんの前後から適切な内容を選ぶ問題です。(7)は詩と鑑賞文の内容が合うものを選ぶ問題です。鑑賞文の内容も読み取った上で、選択肢と照らし合わせましょう。

### 4 物語の読み取り 61.6%

**ねらい**：登場人物の会話や行動からそれぞれの性格を読み取り、場面の状況をつかめているかを問う。

**分析と対策**：子犬を見つけた風汰と吉岡は、持っていたバナナをあたえます。バナナをあたえたあと風汰は子犬を抱き上げ、そのぬくもりから命の温かさを感じます。しかし子犬をどうするか決まらないうちに、吉岡は立ち去ってしまいました。風汰の家はペット禁止なので、風汰は子犬を段ボールにもどして立ち去ろうとしますが、子犬の鳴き声を聞いて、また子犬のところへもどってしまいます。(1)は吉岡の考えの理由を、(2)は風汰の言葉からその考えをそれぞれ読み取って答える問題です。(3)は空らんの前後から適切な内容を選ぶ問題です。(4)は子犬を抱き上げている場面で風汰がどのように感じているかを読み取ります。(5)(6)は風汰の思った内容を答える問題です。(7)は風汰と吉岡がどのような人物なのかを文章中から読み取って適切な選択肢を選びましょう。(8)は風汰と吉岡と子犬のそれぞれが何をしたのかを文章内から正確に読み取って答えましょう。

全体の平均点は 66.5 点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。